

人間とは何だ！ 生きるとは何だ！

90歳の被爆者

詩人

熱帯森林保護団体代表

河野昭人 × アーサー・ビナード × 南研子

72年前の8月6日のヒロシマはいつもと同じ朝を迎えるはずでした。原爆により一瞬にして奪われた日常と原発事故後のフクシマは同じ痛みを抱えています。アマゾンの先住民の人たちは、自然と一つとなり「足るを知る生活」を続けています。この星、地球において人間とは一体どういう存在で、生きていくのに本当に必要なものとは一体何なのか？感性を研ぎ澄まし、ひと時考えてみたいと思います。

1部 基調講演

2部 アーサー・ビナード×南研子



河野 昭人 (こうの あきと)

1927年広島生まれ、現在90歳、18歳の時に被爆、被爆者としての体験から平和の大切さ、非戦の重要性を説いている。2016年8月9日の長崎原爆慰霊平和祈念式典にて広島被爆者代表として松井市長とともに献花する。広島市牛田南2丁目町内会会長として長年地域の自治活動に尽力している。



アーサー・ビナード

1967年アメリカ・ミシガン州生まれ。詩人・翻訳家・エッセイスト。3年余りの歳月をかけてヒロシマの写真絵本『さがしています』を完成させた。生来の豊かな言語センスに加えて、旺盛な好奇心と研究心、何より人間を見つめる心の温かさが多くの詩集を生み出し、高く評価されるに至る。現在講演などで東京と広島を往復する生活を送っている。



南 研子 (みなみ けんこ)

熱帯森林保護団体代表。1947年東京生まれ、1989年、「アマゾンを守ろう」というワールドツアーでアマゾンの先住民のリーダー、ラオーニが来日し出会ったことから同年5月に当団体を設立。その後、約27年間、2017年までに30回現地を訪れ、年数ヶ月アマゾンのジャングルで先住民とともに暮らし、支援活動を続けている。

日時 平成29年5月28日(日) 13:00~16:30

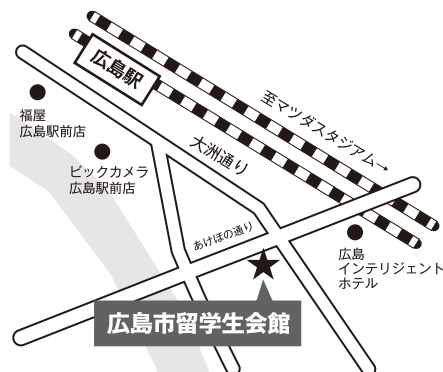
場所 広島市留学生会館(2階ホール)

広島市南区西荒神町1-1 ☎082-568-5931

参加費 一般 当日1000円 事前予約 500円 学生無料

お申し込み 電話 082-923-5166 ※留守電の場合、お名前と連絡先を入れてください。

メール midori@cc22.ne.jp ※件名を5月28日申し込みとしてください。



お問い合わせ:082-923-5166(松岡) 主催:熱帯森林保護団体・熱帯森林保護団体ひろしま